

まちのできごと コロナ禍の中で周辺地域は

●町会などの総会も中止に

6月の町会の総会、4月のけやきコミセンの総会、大野田地区防災の会の総会などが感染拡大防止のために中止になり、書面決議になりました。

けやきコミセンは7月6日から開館ですが、感染症対策として消毒の実施・マスク着用・定期的な換気・検温などを行っています。(吉祥寺北町五丁目町会)

●外出も控えて

緊急事態宣言以来、不要不急の外出は控えずなくてはならない状況になりました。外に出られず人に会うことも減り「会えなくて残念」との声がありました。

緑町コミセンが休館になり、4月の町会の総会が中止、また9月の秋季大祭も中止の予定です。

緊急事態宣言解除後は、外出時にはマスク着用、帰宅後は手を洗うなどみんなで注意して、元気で毎日過ごせることを願っています。(緑町三丁目町会)

●夏祭りも中止に

総会は書面決議、防災訓練や夏祭りも中止になりました。

スーパーの宅配サービスがなくなり困っている方も多く、グリーンパーク商店会の「Midorino」さんとの連携で、集会所前の芝生広場で「野菜の移動販売」を始めました。感染予防のため引きこもりがちだった高齢者の買い物支援や、外出の機会をつくるため、「重たい物運びます」と呼びかけ、住民からは「旬の新鮮な野菜を手にとって選べる」「1個から買えて安い」と上々の評判です。隔週金曜日午後1時開店です。ぜひのぞいてみてください。(武蔵野緑町パークタウン自治会)

●役員会は窓を開け、間隔をあけて着席

自治会の総会は中止し、書面決議にしました。役員会は窓を開けて換気・マスク着用・間隔をあけて席に座る・短時間にするなど、できるだけ気をつけて行っています。(武蔵野緑町二丁目第2アパート自治会)

編集後記

周辺整備も進み、環境啓発施設「むさしのエコreゾート」が11月にオープンします。しかしコロナ禍により、運営協議会の行事やバス研修、エコマルシェなどの開催が危ぶまれています。みなさんと協力して、1つでも楽しい催しができることを願っています。(齊藤武子)

クリーンセンターを 身近な存在にするための役割

武蔵野クリーンセンター運営協議会会長 根岸泰広

クリーンセンターは市民の生活に必要な不可欠ですが、環境や安全面での不安要素もあります。最新の技術により解消できる面もありますが、その技術を最大限発揮するには日常の運営に細心の注意が必要です。そのためには行政と市民間の情報共有と信頼関係を維持することが重要です。

運営協議会は市民と行政の橋渡しとしての役割をもち、永年に渡り信頼関係を築いてきました。引き続きその役割を果たし、信頼関係の維持に努めたいと思っております。みなさまのご協力をお願いいたします。

2020年度 運営協議会委員			
会 長	根岸 泰広	(武蔵野緑町パークタウン自治会)	
副 会 長	狩野 耕一郎	(緑町三丁目町会)	
会 計	千綿 澄子	(都営武蔵野緑町二丁目第2アパート自治会)	
	島森 和子	(北町五丁目町会)	
会計監査	藻谷 征子	(緑町三丁目町会)	
	早川 峻	(北町五丁目町会)	
	高橋 豊	(北町五丁目町会)	
	興梠 信子	(武蔵野緑町パークタウン自治会)	
	齊藤 武子	(緑町三丁目町会)	
	荻野 芳明	(環境部長)	
	三浦 伸夫	(環境部ごみ総合対策課クリーンセンター担当課長)	

●2019年度 運営協議会 決算

2019年度 運営協議会 決算				単位=円
収 入		支 出		
市補助金	1,000,000	事務費	4,264	
その他の収入	59,005	広報費	363,130	
		事業費	514,923	
		会議費	0	
		備品費	0	
		交際費	0	
		予備費	0	
計	1,059,005	計	882,317	
		市への返却金	176,688	

●2020年度 運営協議会 予算

2020年度 運営協議会 予算				単位=円
収 入		支 出		
市補助金	1,000,000	事務費	10,000	
その他の収入	60,000	広報費	375,000	
		事業費	625,000	
		会議費	5,000	
		備品費	40,000	
		交際費	5,000	
		予備費	0	
計	1,060,000	計	1,060,000	

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会

〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5
武蔵野クリーンセンター内
電話：0422-54-1221

●武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

*この広報は、再生紙を使用しています。

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 76

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺3地域4団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

CONTENTS

- P1…レジ袋有料化始まる
使い捨てプラスチックごみの減量へ
- P2…クリーンセンターの
新型コロナウイルス対応
- P3…環境啓発施設
むさしのエコreゾート
オープンに向けて
- P4…まちのできごと
コロナ禍の中で周辺地域は
クリーンセンターを身近な存在にするための役割
活動報告

レジ袋有料化始まる 使い捨てプラスチックごみの減量へ

7月から全国一斉に有料化

2020年7月1日から全国一斉にレジ袋が有料化になりました。スーパーマーケットなどでは先行して行われていましたが、コンビニエンスストアでも1枚3円～5円などと有料になりました。

これは容器包装リサイクル法の省令改正にともなうものであり、焼却すると二酸化炭素を排出するレジ袋の削減で地球温暖化問題の解決や、適切に処理されず海へ流れ出ることによって起きている深刻な海洋汚染に対応する対策です。

対象とならないものは？

紙袋は有料義務化の対象ではありませんが、店によって有料化するところが増えました。プラスチック製でも持ち手がないものや、0.05ミリ以上の厚みがあり何回も使える袋は、有料化の対象ではありません。

また、海洋生分解性プラスチック配合率が100%の袋や、植物由来の「バイオマス素材」を25%以上含む袋は、環境に配慮していると見なされて対象になりません。外食チェーンの多くは、テイクアウト用にこのバイオマス素材の袋を利用する方針としています。

脱プラスチックへの第1歩

日本の廃プラスチックは年間約900万トン、そのうちレジ袋は数%、また再生利用される廃プラスチックは23%にすぎないといわれています。レジ袋の有料化は脱プラスチックに向けた第1歩です。

このところの新型コロナウイルスの感染防止対策で、テイクアウトが増えていることから、レジ袋やプラスチック製容器のごみも増えていると思われます。



武蔵野市の状況と課題

平成30年度に市が収集しているペットボトルが年間約500トン、収集にかかった経費は約1億600万円となっています。また、その他プラ容器は約1,922トン、約2億2900万円の経費がかかっています。

生活の中で、お弁当の容器、洗剤やシャンプーの容器、調味料のボトル、レトルトパックなどの容器包装プラスチックは身近で本当に便利ですが、これらをどうしたら減らしていけるのか、この機会に容器・包装全体を減らせるような私たちの生活様式や、社会の仕組みを考え、変えていくことが必要となっています。

そのために企業、商店、私たち消費者それぞれの努力が必要です。今何が出来るか、足元からみんなで考えていきましょう。

クリーンセンターの新型コロナウイルス対応

安定的なごみ処理の継続を目指して

クリーンセンターは生活に欠かせない施設で、ごみ収集・処理を止めるわけにはいきません。コロナ禍の中で、ごみ処理に携わる方々の努力により、さまざまな対策が講じられました。

4月7日に改正新型インフルエンザ対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が、東京都を含む7都府県（16日から全国に拡大）に発令されました。これに伴い、新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に、緊急事態宣言が解除されるまでの間、クリーンセンターでは市内のごみを安定的に処理するため、以下のような対応を行いました。

■コロナ感染拡大防止への対応

- 粗大ごみの持ち込みの休止(4/13~5/25)
- 見学者コースの休止(3/2~5/31)
※6/1より一般見学、7/1より団体見学を再開しました。
- クリーンセンターでのイベント開催中止または延期
- 市職員の2交代制勤務の実施(出勤、在宅の2班に分け、1日から最大1週間おきで交代)。
- 工場での運営を最少人数で実施(今までの約半数)
- 職員のマスク着用と体調管理の徹底
- 手指消毒剤の設置
- 受付窓口のフィルムカーテンの設置
- 運営協議会(4/22開催分)の書面開催

上記の対応のもと、収集業務に従事されているみなさんの努力もあり、市内のごみを円滑に処理することができました。クリーンセンターに従事する職員の感染は7月1日現在まで報告されていません。

ごみ収集への影響は？

ごみ収集にどのような影響があったのか、ごみ総合対策課と、可燃ごみの収集を委託している武蔵野美装(株)の方に伺いました。

Q1. ごみの回収量や内容は変わりましたか？

事業系ごみ(特に飲食関係)は大幅に減りました。家庭ごみは、可燃ごみだけでなく増加しました(ビン、缶、ペットボトル、不燃ごみなど)。

Q2. 家庭ごみの出し方に変化はありますか？

あまり変わりませんが、「おむつ」を新聞紙に包み紐でしばったり、袋を二重にして出されていることがありました。ごみが増えたため所定の場所に置けず離れて置く場合あり、回収していか判断に困ることがあります。また、40リットルの袋が増えました。枝などの剪定ごみも増えました。

Q3. 市民からの感謝の言葉があると聞きましたが

紙に書いたり、手紙を送ってくれたり、回収時に待っていて「ありがとう」と言ってくれることが多くなりました。折り鶴やマスクをいただいたこともあります。今までこうしたお手紙は、年間120件程でしたが、今年4~6月で351件も手紙をいただき作業員一同感謝しております。

Q4. 今後、市民にお願いしたいことはありますか？

ごみ袋から鼻紙や小物が落ちることがあるので、袋はきっちり締めてください。カラス、猫などが袋を破ると中身が散らかるので、戸別収集の場合はごみ袋は容器に入れて出してください。

感染防止対策として、ごみの分別の徹底、中身が出ないようにごみ袋をしっかりしぼること、ごみ出しの時間の厳守をお願いします。



寄せられた「ありがとう」の手紙



環境啓発施設 むさしのエコreゾート オープンに向けて

旧クリーンセンターのプラットホームと事務所棟をリニューアルした「むさしのエコreゾート」の建物。プラットホームの大空間とごみ投入口を残し、ごみ処理の歴史を感じることができるユニークな外観です。

旧事務所棟を活用して

周辺団体が要望し続けてきた環境啓発施設は、エコプラザ(仮称)改め「むさしのエコreゾート」と名称が正式に決まり、11月オープンの予定です。

クリーンセンター敷地内の工場棟・管理棟・芝生広場も合わせて一体のフィールドとして、ごみ減量や環境負荷の低減をみんなで考え取り組むことで、SDGsの達成に貢献する施設を目指しています。

クリーンセンター運営協議会は、当初から検討に参加してきました。建物だけではなく緑や景観に配慮し、地域と調和したよりよいまちづくりと、旧クリーンセンターのごみ処理への歴史と運営協議会をはじめ関わ

ってきた人々の思いを未来へつなぐものにと要望し話し合ってきたことが、建物や周辺整備に反映されています。

旧事務所棟は耐震性向上のため3階は撤去され、プラットホームもその姿を生かして広々とした多目的の空間に、芝生広場やどんぐり広場、周辺の道路や公園の整備など、着々と進んでいます。今年度は建物の案内表示取り付けや造り付け家具などの内装工事が行われる予定で、完成まであとわずかです。

オープンに向けた準備の状況を、環境政策課に伺いました。

学び合いのびのびと育ち合う施設に

この施設は新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備協議会(4期9年)、エコプラザ(仮称)検討市民会議などで、施設のあり方や運営などについて、市民参加で議論を重ねてきた施設です。

昨年度からは、市内のさまざまな環境団体や事業者などが参加するエコプラザ(仮称)連携会議や、環境以外の分野の委員も参加する同運営会議が始まり、施設運営の基礎となる考え方や活動への取り組みなどについて意見交換しています。今後は、これまでの議論の積み重ねを実際に行うプログラムや利用のマニュアルなどに生かして、11月開館後の施設運営へとつなげていきます。

一方、事業面では、「むさしのエコreゾート」の担い手や継続的に関わる人材を支援するために、昨年度、環境の学校「連続講座」や「PRプロジェクト」などの事業を立ち上げ、多くの方にご参加いただきました。3月以降はコロナ禍の影響で、こうした事業の中止・延期を余儀なくされていますが、再開・実施に向けて、引き続き準備を進めていきます。

「むさしのエコreゾート」の基本的な考え方の一つに、時代や価値観、ニーズの変化に対応しながら、人も施設も学び合い、みんなで一緒に新しい価値をつくり続ける『進化しながら磨く』という考え方があります。コロナ禍の中、まずは小さく生んで徐々に広げ、多くの方々とともに大きのびのびと育てていけたらと考えています。(環境政策課)